

## 電磁クラッチ付油圧ポンプ取扱説明書

※取り付けや点検などの作業を行う場合は、必ず動力(エンジンや電源)のメインスイッチを落とし、回転部分が完全に停止していることを確認してから行ってください！  
(注意！)回転物に巻き込まれ、重大な事故(大ケガ)に繋がる危険があります！

- ◆ポンプ台はシャフトやベアリング保護の為にオイルバス式となっております。オイル量の点検を、試運転後に行ってください。また、半年に一度は確認してください。オイル量は台の横に付いているオイルゲージの半分まで入っているか確認してください。オイル交換は年に一回は行ってください。(汚れがある場合はその都度交換してください。)オイルはギヤーオイル100番相当をご使用ください。給油口兼エア抜きキャップの、空気孔栓ゴムは使用時は抜いて下さい。
- ◆設置の際は強固な取付台の上に据え付けしてください。エンジン振動や船体振動が大きく伝わる場合は、故障に繋がる場合があります。油圧ポンプの回転方向を間違わないようにしてください。回転方向を間違えると破損します。油圧ポンプ側のプーリー溝形状は、駆動側(エンジン側)のプーリー溝形状と統一させて、プーリーの溝形状に合ったベルトを必ず使用してください。
- ◆電磁クラッチの先端ボルトは試運転後に緩みがないか確認してください。緩みがあれば、増し締めしてください。半年に一度は緩みがないか点検し、増し締めしてください。センターボルトを外した場合は、緩み止め(ネジロック)を塗って取付してください。
- ◆航行時、電磁クラッチのスイッチ切り忘れには注意してください。電磁クラッチ、ポンプ台、油圧ポンプともに故障(破損)に繋がる場合があります。
- ◆非常用連結金具を使用し、直結状態として使用する場合。(電磁クラッチが故障した非常時以外は使用しないでください。)動力(エンジンや電源)のスイッチを落とし、回転が完全に停止していることを確認してから、電磁クラッチの非常用連結金具取付溝2カ所に、連結金具と取付ボルトでしっかりと取り付けてください。非常用連結金具を使用しますと、エンジンと直結状態になりますので油圧を使用しない航行時等は非常用連結金具を取り外すことを、おすすめします。

